

ベタニア修道社会

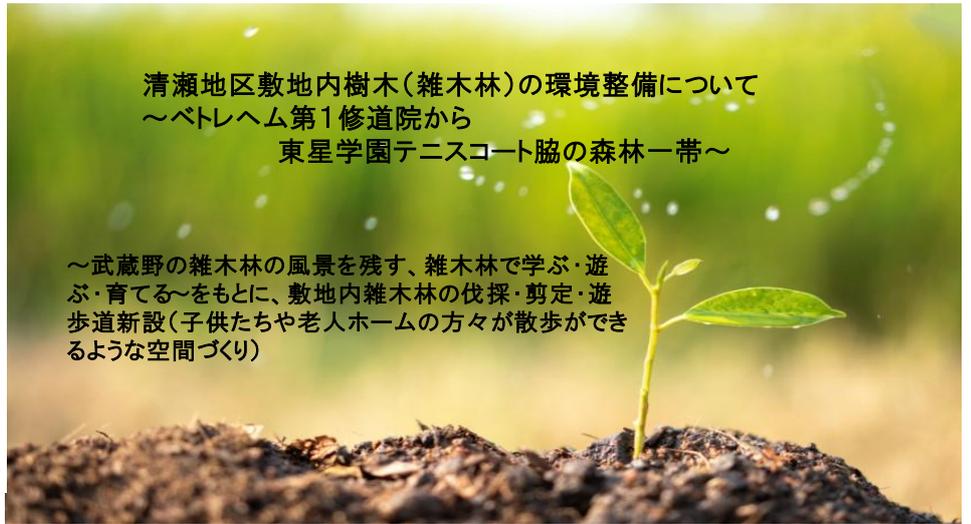
行動を伴うエコロジカルな回心<2021年2月~2021年6月 として継続的な管理>

長い間、定期的な手入れをすることなく、さらに台風や気候変動の影響を受けて、雑木林の内部は倒木や枯木の形状のまま、ほぼ放置された状態にありました。

自然破壊に繋がってしまうという危惧を抱き、専門業者に相談。環境整備を目的とした現場の調査や、森林における生態系の保全や劣化した森林の回復に焦点を当てるための提案を依頼いたしました。

清瀬地区敷地内樹木(雑木林)の環境整備について ~ベトレヘム第1修道院から 東星学園テニスコート脇の森林一帯~

~武蔵野の雑木林の風景を残す、雑木林で学ぶ・遊ぶ・育てる~をもとに、敷地内雑木林の伐採・剪定・遊歩道新設(子供たちや老人ホームの方々が散歩ができるような空間づくり)



修道会としては

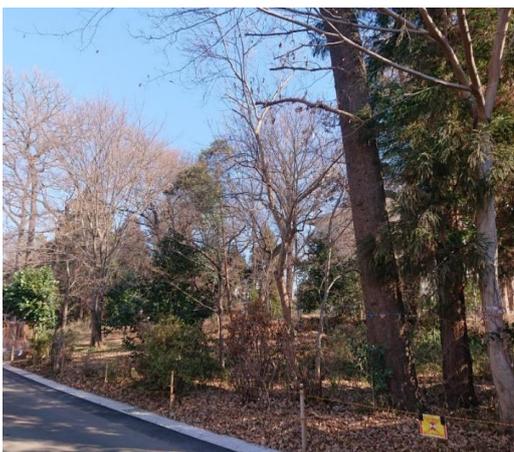
①年間目標との取り組み

②『2020年の「ラウダート・シ」週間で始まる特別年は、「行動を伴うエコロジカルな回心」に明確に重点を置き、他者と提携しながら、いくつかの取り組みを進めていくこと』

③「私たちはみな、神の道具として、被造界を世話するために、おのおの自分自身の文化や経験、自発性や才能に応じた協力ができるのです。」(S14)

④SDGs(持続可能な開発目標)の15「陸の豊かさも守ろう」などのことば(呼びかけ)に導かれていく

⑤また炭素の循環に着目し、ミミズや微生物、菌類などの土壌中にある分解者によって、豊かな生態系が作り上げられていくことになるという点にも希望をおく



同じ創立者に結ばれた慈生会・東星学園と協働して取り組み、喜びも3倍に!

伐採樹木の剪定、電線への干渉、枯れ木、幹割れ、弱りのためキノコが生えている等、過密になりすぎている場所や大きくなりすぎた樹木の整理が行われ、林床に光を入れて、様々な生物の生息地として回復し、数年後には豊かな生態系が作り上げられていくことに期待を持つことができました。

また現在数十種残っている山野草も、苗木が育ち散策する人々の目を楽しませてくれそうです。

環境整備の完成した森林一帯は“ベトレヘムの森”と名づけられました。

★森林一帯の環境整備は 2 月から始まって雑木林の伐採・剪定・遊歩道新設という順序で5月末に終了。

☆6 月に入って少々気になっていた遊歩道沿いや道路沿いに並べられた枯損木（廃材活用というコンセプトが強い）を可能な限り持ち出して処分してもらい、何とか落ち着いた雰囲気になりました。

★森の中央には、絵文字で「ベトレヘムの森を利用するにあたって」、「ベトレヘムの森マップ」の看板、樹木には樹名札がつき、広く開けた場所を「みんなの広場」として、ベンチなどを置いて休憩できるスペースも設けました。

☆子供たちが探検できるような、木々の間を通る長い遊歩道（希望の小径）と、老人ホームの方がお散歩できるような短い距離の遊歩道（風の小径）を設けました。

★「みんなの広場」では、すでに子どもたちや施設の職員が談話する姿、散歩をする姿も見られます。みんなの心の癒しの場になっていることを嬉しく思っています。



メタセコイヤ伐採①



メタセコイヤ伐採②



メタセコイヤ伐採③

↑ メタセコイヤ伐採の様子



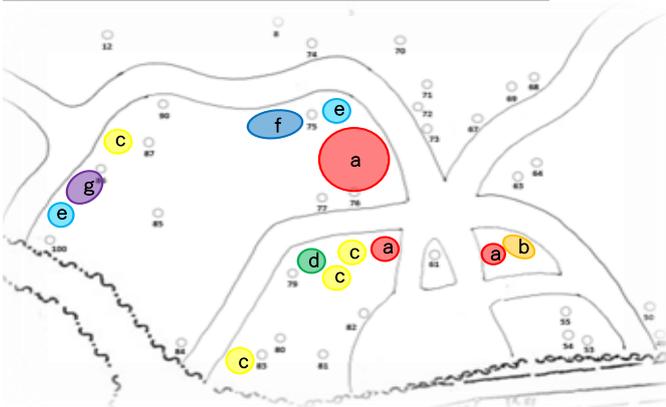
← 散策の小径

→ 広場の祝福



祝福式2021/6/

山野草移植リスト



作業前に移設しておいた地被類を、復旧植付いたしました。

- a. クリスマスローズ
- b. フキ
- c. ハギ
- d. アジサイ
- e. ヤブラン
- f. ウバユリ
- g. ヨキヤナギ

※上記のうち、a、cは杉井農園にて生産された苗を、追加植栽しております。



a. クリスマスローズ/多年草
花期：1月～4月



b. フキ/多年草
花期：1月～3月



↑ アシタバ

←
7 種類の
山野草の移
植場所



c. ハギ/落葉低木
花期：7月～10月



d. アジサイ/落葉低木
花期：6月～9月上旬



e. ヤブラン/多年草
花期：8月～10月



f. ウバユリ/球根植物
花期：7月～8月



g. ヨキヤナギ/落葉低木
花期：4月

今後年間を通して草刈りや切り株から出てくる新枝やツル草の除去などの森の管理が忙しくなります。